

🔍 コンプライアンス教育・体制セルフチェックリスト（10 項目）

監修：RESUS 社会保険労務士事務所

No.	チェック項目	YES	NO	補足メモ	めやすコメント（辛口）
1	全社員に対し、年 1 回以上のコンプライアンス研修を実施している	☐	☐		「忙しいから研修なし」は論外。教育不足はリスクの温床です。
2	新入社員研修で法令・社内ルール・SNS 利用規程を説明している	☐	☐		入社時に放置すれば“知らなかった”で炎上します。
3	社員が就業規則・マニュアルをすぐに参照できる体制がある	☐	☐		規則が机の奥のファイルなら無いのと同じです。
4	管理職向けのパワハラ・セクハラ・労務管理研修を行っている	☐	☐		管理職が「知らなかった」では裁判で負けます。
5	内部通報制度や相談窓口があり、社員に周知されている	☐	☐		仕組みがあっても告知されなければ無意味。
6	SNS 投稿や情報持ち出しに関するルール・教育がある	☐	☐		炎上や情報流出は「教育不足」で片付けられません。
7	年 1 回以上、法改正や判例を踏まえた規程の見直しをしている	☐	☐		古い規程は「使えないリスク」。未更新は責任問題。
8	ハラスメントやトラブル発生時の初動フローを明文化している	☐	☐		事件が起きてから慌てて探すマニュアルは無価値です。
9	教育履歴・受講記録を残し、外部監査や裁判でも提示できる	☐	☐		「やったはず」は通用しません。記録が命。
10	現場スタッフも理解できるわかりやすい教材を整備している	☐	☐		専門用語の羅列は「自己満足」。現場が理解できなければ意味なし。

💡 使い方：

- YES が 7 未満 → 重大リスクあり。早急に研修・体制整備を検討
- YES が 5 未満 → 内部統制レベル危険域。経営リスク中
- YES が 3 未満 → いつ事故が起きてもおかしくない状態。経営リスク高